

平成29年度 第3回甲賀市総合教育会議（議事録）

1. 開催日時 平成29年12月4日（月）
開 会 13時30分
閉 会 15時10分
2. 開催場所 市役所水口庁舎会議室301A
3. 議題 (1) 協議事項
①甲賀市教育大綱の改定について
(2) 報告事項
①平成28年度市内小中学校におけるいじめ・不登校等の状況について
②平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について
(3) その他
①総合的な放課後対策の在り方について
4. 出席委員 岩永市長、山下教育長、山田教育長職務代理者、藤田委員、今井委員、松山委員
5. 出席事務局員 市長公室長、総合政策部次長、秘書課長、政策推進課長補佐、同課係長
こども政策部長、こども政策部次長、教育部長、教育次長（管理担当）、
教育次長（指導担当）、教育次長（学校教育担当）、教育総務課長、同課長補佐
6. 傍聴者 0名
7. 議事の内容 別紙のとおり

○事務局 ただ今から、平成29年度第3回甲賀市総合教育会議を開会いたします。
 まず初めに、甲賀市市民憲章を唱和いたします。恐れ入りますが、ご起立をお願いいたします。

【全員起立し市民憲章唱和】

○事務局 ありがとうございました。ご着席ください。
 開会にあたりまして、本会議の議長でもあります岩永市長がご挨拶を申し上げます。

○岩永市長 皆さま、こんにちは。師走という大変お忙しい時期に、委員の皆様方にはお集まりいただき誠にありがとうございます。

 先月20日に本市は、立命館大学と経済、観光、文化振興、地域活性化をはじめとした幅広い連携を図っていくために、包括連携協定を締結いたしました。この協定により、大学の知的資源を活かした政策展開や学生などの若い力を活かした取り組みを進めてまいりたいと考えております。大学のない本市で、市民の皆さんに学ぶことの意義や喜びを知る機会を作り、学生が地域の中で様々なチャレンジをすることによって先ほど述べた分野がさらに活性化していくことを期待しています。

 さて、本日の総合教育会議につきましては、第1回、第2回とご検討を重ねていただき、皆様方から活発なご意見を頂きました甲賀市教育大綱改定案について、最終のご確認を賜りたいと存じます。併せて、市内小中学校のいじめ・不登校の状況、今年度の全国学力・学習状況調査の結果などについても共有しながら、子どもたちをとりまく環境や課題について、どのように施策へ反映させていくかということを検討させていただきたいと考えております。委員の皆様方におかれましては、忌憚のないご意見、活発なご議論をお願いします。

 最後に、今月17日をもちまして、教育委員をご退任される山田教育長職務代理者様には、平成16年より長きにわたりまして、教育委員として、また教育委員長として本市の教育行政をお支えいただきました。改めまして市民を代表し、その労苦に対しまして心より御礼を申し上げますとともに、今後共、本市の教育行政にご指導ご鞭撻を賜りますことを心からお願いを申しあげ、冒頭のご挨拶に代えさせていただきます。

 本日はよろしく申し上げます。

○事務局 それでは早速、本日の議題に入ります。甲賀市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により、議長は市長が行うこととなっておりますので、市長、議事の進行をお願いいたします。

○岩永市長 それでは、議題に入ります。協議事項の①甲賀市教育大綱の改定について、事務局より説明をお願いします。

【甲賀市教育大綱の改定について説明】

○岩永市長　それでは、最終のご確認をいただきたいということで、資料1の順番に沿ってご意見を賜りたいと存じます。1ページの「はじめに」についてご意見をお願いします。

【意見なし】

○岩永市長　それでは、次に3ページの「教育方針」についてご意見をお願いします。

○今井委員　欄外の郡中惣の説明文の「地域が結束して事にあたり」の後に読点を入れた方が読みやすいと思います。

○事務局　こちらにつきましてはまちづくり基本条例の注釈を使用しておりますので、原文を確認し、再度検討したいと思います。

○岩永市長　それでは、次に4ページの「教育目標」についてご意見をお願いします。

【意見なし】

○岩永市長　それでは、次に5、6ページの「教育施策の柱」についてご意見をお願いします。

【意見なし】

○岩永市長　ありがとうございました。

それでは、委員の皆様方から貴重なご意見を賜り、最終のご確認をいただけたと思います。今後は、市議会の常任委員会での報告など、公表に向けて事務を進めていきたいと存じます。

それでは、甲賀市教育大綱をこれで決定させていただきたいと思います。

○岩永市長　続きまして、報告事項に移りたいと思います。報告事項の①平成28年度市内小中学校におけるいじめ・不登校等の状況について、事務局より説明をお願いします。

【平成28年度市内中学校におけるいじめ・不登校等の状況について説明】

○岩永市長　それでは、市内小中学校におけるいじめ・不登校等の状況についてご意見又はご質問をお願いします。

○今井委員　いじめの状況の認知件数につきまして、中学校では昨年度に比べ43件減っていますが、

この結果は、いじめの防止が徹底されてきたと分析するのか、目が行き届いていないために、いじめを確認できていないと分析するのか、あるいはがき大将みたいな子どもが前年度に卒業したために少なくなったと分析するのか、どのように分析されていますか。

○事務局 これにつきましては、いじめの防止が徹底されてきたものと考えています。平成25年に本市で、いじめの重大事案が発生しましたが、これ以降、当該学校及び市内小中学校で徹底した指導をしております。この取り組みにより、認知に該当する件数も減ってきていると考えております。

○岩永市長 取り組みが成果として現れてきているということですね。

○藤田委員 いじめや不登校に対応する際に、現場で一番不足しているのは職員の数だとお聞きしていますが、状況をお聞かせください。

○事務局 子どもを見る目が多ければ多いほど、問題を見逃さなくなると思いますが、単純に職員を増やすのは効果的でないと思います。専門知識のある職員、例えば福祉の知識がある職員などを配置してもらえればありがたいと思います。また、教育委員会も含めた学校の組織対応を、さらに充実出来るように努力していきたいと思っております。

○藤田委員 いじめに関しては、子どもの変調を感覚的に感じ取ることが大事であると思います。今日は子どもの様子がいつもとちょっと違うという感覚を身に着けることは、若い先生方には難しいかもしれませんが、充分ご経験がある先生方に感じ取っていただくことが重要であると思います。

○岩永市長 子どもを見守り、ちょっとした変化に気づく能力と、その能力を鍛えていただくような環境作りも必要ですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○山下教育長 教員として必要な感性、感覚を元々持っているという方もいらっしゃいますが、教員同士が事例を話し合い、意見交流する中で、教員自身が学び、レベルを上げていくことが重要であると思ひます。そのような方法で教員の子どもを見る力を育成してていく必要があると思ひます。決まりきった研修ではなく、具体的な子どものことをみんなで話し合う中で育まれるものであり、そのためには、教員自身の余裕や、時間、場も必要だと思ひます。

○岩永市長 子どもと向き合う時間や、他の先生のお話を聞く時間の確保も重要であると思ひます。働き方改革にも繋げていきたいと思ひます。

○山田教育長職務代理者 (5) のいじめの認知件数の推移では、平成24年度と平成28年度を比べると、小学校では50件から116件に倍増しています。中学校では平成27年度までは

増えており、平成28年になって前年より43件減りました。小学校の件数が極端に増えているということは、教師の注意力や指導が非常に良くなり認知件数が増えたという見方もできますが、いずれにしても小学校の場合は増えている状況ですので、決して良い結果ではないと思います。また、県内の市町との比較も必要であると思いますが、県全体と比べるとどのような状況ですか。

○事務局 申し訳ございませんが、本日は具体的な数字を持ち合わせておりません。私の記憶では、滋賀県内のいじめの認知件数は平成28年度が過去最高であると認識しております。その理由として、いじめの定義自体が変わってきたことが挙げられます。例えば、一昔前の認知件数が少ない時期では、いじめが何日も継続して、何回もいじめられて、その上で「いじめが1件」として認定していました。今では、1回叩いた場合も、「いじめが1件」と認定しています。いじめの定義が変化し認定基準を徹底したことにより、認知件数が増加したと考えています。

現在では、全国的に認定基準を徹底することによって、いじめが1件もない学校とはどういうことかと逆に指摘される状況です。このように良い意味で、件数が増えていくのは好ましいと思っています。その上で、「1回叩くこと」がなくなれば、数として減っていく状況ですので、増えるところまで増えた後に、下がっていく方向が、良い方向であると考えております。ただし、平成28年度がピークであるかどうかということは、私にもわかりませんし、誰にもわからないと思います。

○松山委員 市内のいじめの件数は、どの小学校も中学校も等しく一定の割合で認知されているのですか。あるいは、ある学校は多くて、ある学校は少ない、それらの集合として、甲賀市全体としてこのような件数になっているのですか。

○事務局 学校による差は一概に言えないと思います。小さい学校はいじめが少なく、大きい学校はいじめが多いという話をよく耳にしますが、これは大きな間違いであり、学校が大きくても小さくてもいじめは同じようがあると認識しています。

年度により人が違いますので、ある学校に集中する時もあれば、また次の年度には違う学校に集中するということがあります。特定の学校に多いということはないと考えています。

○山田教育長職務代理者 学校にはやんちゃな子どもが多く集まる時期があり、そのような学年があると、在学中の3年間にいじめが続発する反面、その学年が卒業したらいじめがなくなるというようなことも実際にあったと思いますので、いじめが大規模校に多い、小規模校に多いという分析は一概に言えないと思います。

ただ、どちらかと言えば大規模校の方が問題が起こる可能性は高いと思います。なぜかと言いますと、大規模校では、教員自身が同僚とミーティングしたり、子どもと接する時間を作ったりする時間的な余裕が少ないと思います。やはり子どもと接する時間が少ない

と、子どもの変化に気づくことができないと思います。

また、家庭の事情等に問題がある事例が増えてきています。保護者と学校とが連携を取りながら対応を進める必要がありますが、先生が学校で教えている時間はごくわずかな時間です。普段、その倍ぐらいの時間を家庭で過ごしているため、家庭での教育や人間関係の影響が大きいと思います。家庭での教育においても学校での教育と同じように注意をしていただき、子どもの変化を早く発見することが重要であると思います。

そして、いじめの認知件数は少ない方が良いのですが、教員があまり注意深く見てなかったら件数が減り、観察していれば件数が増えてくるといふことがあるので、一概に数字だけで学校間の比較はできないと思います。

○山下教育長 これまでの経験から言いますと、ある学年で荒れかけてくると、それが派生し、件数が膨らんでいくことがありました。それらを早期に発見し対応することが、いじめや問題行動を拡大させないために大切なことであると思います。

同じく不登校に関しましても、大きな課題であると認識しています。全ての子どもが喜んで学校に来ることが一番の基本ですが、なかなかそのような状況になっていません。この課題に取り組んでいくために、担任の先生が授業をしている間、他のスタッフが家庭訪問し、保護者が相談できるように組織的な人員配置を考える必要があると思います。

○岩永市長 ありがとうございます。次年度に向けて、教育長が述べられた具体的な施策を進めていくことが必要になりますので、ご協力ご理解をいただきたいと思います。

それでは本件につきましては、以上とさせていただきます。

引き続きまして、平成29年度の全国の学力・学習状況調査の結果について事務局より報告をお願いします。

【平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について説明】

○岩永市長 それでは、全国学力・学習状況調査の結果についてご意見又はご質問をお願いします。

○山田教育長職務代理者 教員の就業時間が非常に長く過酷であるという問題があり、対策として人的、経済的な応援が必要であるという意見をお聞きしたことがあります。

甲賀市の学力・学習状況調査の結果は、全国と比較して5、6点、1問から2問の不正解による差であり、決してすごく悪いと言うわけではありませんが、良いに越したことはないため、少しでも成績を上げていけるよう取り組んでいただきたいと思います。

そのためには、時間的に余裕のある学校運営が非常に重要であると思います。先進地研修や大学と民間との共同研究などから参考にできることもあると思いますが、現実に甲賀市の学校において実施することが可能かどうかを検証する必要があると思います。

例えば高度な機械を使って授業を行うことも有意義なことですが、家庭と学校との連携、市及び教育委員会による学校運営のあり方、教員同士の情報共有等、根本的な点について

もう一度精査し、こうか授業術「5箇条」を基本として、学びやすい環境を作りあげることが重要であると思います。

○事務局　ご意見のとおり、甲賀市と全国の差は、子どもたちが1問正解すれば全国を上回る得点差です。しかし、得点差が小さいといえどもこれが現状ですので、ご指摘いただいた家庭との連携を重点的に強化し、さらに子どもたちの力が伸びていくように努力していきたいと思ひます。

○松山委員　以前から申しあげていますが、先生の意識を高めることが重要であると思ひます。例えば、企業でしたら、会社の売上目標を設定し、一人ひとりの社員の意識が高くなれば会社の売上は目標まで届きますが、「まあまあそこそこで良い。一応がんばっているから。」という意識で働いていると売上も上がらないと思ひます。学校でも、「子ども達にここまで力をつけさせてあげたい。これだけは理解させてあげたい。これだけの計算はすぐ出来るようにしてあげたい。」という教師としてのプロ意識を一人ひとりの先生に持っていたら、少しずつ点数は上がると思ひます。

教育委員会をはじめとする管理職の方が、それぞれの先生にもう少しプロ意識を持つように指導することが必要であると思ひます。

○事務局　教員は一生懸命に携わっているつもりですが、力が及んでいない点についてさらに検証を重ねていきたいと思ひます。

○山下教育長　教員は必ず4月に「今年の授業や生徒指導では、こういうことをやってみよう。」という目標を人事評価の一環として校長へ報告し、校長と教員は、その目標に対し改善点を話し合うことになっています。学校内で目標が共有された中で、教員一人ひとりが目標意識をしっかりと持った上で授業に臨んでもらえるよう、教育委員会を含め管理職の先生方に指導をお願いしたいと思ひます。また、教員一人ひとりが先ほどお話いただいたプロ意識を持つことで、工夫し、高めていければよいと思ひます。

○今井委員　先月、教育委員会の研修会に行った時に、秋田の教育委員会の方が「ここでは周辺に塾が少ないため塾に行く子どもは少ないが、学校で勉強しているだけで全国的にかなり高い成績を上げている。」というお話をされてきました。

昔は甲賀市でも塾に行っている子どもは少なかったのですが、今は塾に行っている子どもがほとんどです。学校で勉強しなくても塾で勉強すればいいという意識では、子ども達はオンオフの切り替えができず、学習が身に付かないと思ひます。同時に、学校の先生も自分がこれだけ教えたから、これだけ成績が上がったという実感が湧かない。自分が教えて、塾でも教えているという状況が、意識の緩さにつながっていると思ひます。

○事務局　滋賀県では、塾に行く子どもの割合は高いです。教員には塾に行こうが行くまいが、学

力を付ける場合は学校であるという意識をさらに徹底したいと思います。

○岩永市長 大変貴重なご意見をありがとうございました。それでは本件につきましては、以上とさせていただきます。

引き続きまして、総合的な放課後対策の在り方について事務局より報告をお願いします。

【総合的な放課後対策の在り方について説明】

○岩永市長 この資料につきましては、次回の総合教育会議で、総合的な放課後対策の在り方について皆様方に協議していただくための話題提起でしたので、今後お目通しをいただき、次回の総合教育会議において、ご検討賜りたいと存じます。

それでは、本日の議題が終了いたしましたので、進行を事務局に戻します。

○事務局 ありがとうございます。

今後の総合教育会議について連絡します。本年度の案件として予定しておりました教育大綱の改定に関しましては、本日をもって区切りとさせていただき、次回の会議につきましてはあらためて調整し、今回話題提供をさせていただいた案件をご議論いただきたいと思いますと考えておりますのでよろしくお願いします。

それでは最後に、閉会のご挨拶を山下教育長からお願いします。

○山下教育長 本日は、何かとお忙しい中、本会議にご出席賜り誠にありがとうございました。

教育大綱の改定につきましては、昨年度2月の総合教育会議で基本的なスケジュールをご確認いただいてから、これまで3回の総合教育会議を重ねてまいりました。皆様には熱心なご協議を賜り、最終の確認を終えることができました。今後は改定されました教育大綱を議会の皆様や多くの市民の皆様方に広くお伝えし、オール甲賀で本市の教育が一層進展してまいりますよう、関係各部署で取り組んで行かなければならないと考えています。今後とも委員の皆様方のご指導をよろしくお願いするところでございます。

さて、広報こうかの12月1日号で学校教育に関しまして特集を組み、教育委員会が現在取り組んでおります事業に関して市民の皆様にお知らせをいたしました。未来に生きる若者たちが、変化の激しい時代をたくましく生きていくためには、知徳体のバランスのとれた生きる力を育てることが求められております。自ら学ぶ力と習慣、これをしっかりと身につけさせることが、将来にわたって重要であると考えています。そして、その力を育てるのは学校だけではありません。学校・家庭・地域・行政がそれぞれの持っている機能を活かして取り組んで行かなくてはなりません。今回改定しました教育大綱は、それぞれの取り組みの指針となりますことを願うところであります。

また、報告がございましたいじめ・不登校の状況や全国学力・学習状況調査の結果につきましては、私たちは重く受け止め、今後も皆様方のご意見をいただきながら改善に向けて具体的な対応を進めていかなければならない重要な課題であると認識しております。

結びとなりますが、開会のあいさつで市長からも話がありましたように、山田教育長職務代理者におかれましては、総合教育会議にご出席いただくのは、今回が最後となります。これまで多くの貴重なご意見を賜り、協議を深めていただきました。合併以降長きにわたり、甲賀市教育の推進にご尽力いただきましたことに深く感謝を申しあげ、閉会のあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございました。